

11月中旬配信(予定)

(事例研究)

東北「みちのく潮風トレイル」と復興ツーリズム

Konno Junichi



紺野 純一

(一社)東北観光推進機構 理事長
淑徳大学 経営学部 観光経営学科
客員教授

福島市出身。JR東日本で福島駅、仙台駅の駅長を、また、仙台ターミナルビル(株)専務取締役、縮役ホテル事業本部兼ホテルメトロポリタン仙台総支配人を歴任した。2015年から東北観光推進機構にて現職。東日本大震災からの東北の観光復興を進め、東北6県DCの事務局長を務めた。観光データのデジタル化や観光人材育成にも尽力し「フェニックス塾」を2016年からスタート。東北を支える多くの観光人材を輩出している。

久保 美和子

フェニックス塾 第4期卒業生

Kubo Miwako



広告代理店を経て、大手人材会社へ転職。再就職支援部門で企業向けソリューション営業等の経験を積む。その後、地域連携DMO法人で東北の地方創生事業に従事。復興庁、観光庁事業をはじめ、地方自治体が主導するプロジェクトに参加。地域観光商品の開発や情報発信、受入体制整備など観光地域づくりに取り組む。仙台を拠点にstosdesignに所属。これまでの経験やキャリアコンサルタント資格を活かして地域密着型の観光地域発展と観光人材の育成に取り組む。

11月23日(祝・土) 13:00~14:30
観光経営人材育成の重要性和実務について

～アドベンチャーツーリズム(AT)推進からの示唆

Kazama Yoshitomo



風間 欣人

(株)JTB総合研究所
代表取締役社長執行役員
(一社)日本サステナブルツーリズム
イニシアティブ 理事
立教大学 観光学部 特任教授

(株)日本交通公社(現JTB)に入社、(株)JTB執行役員グローバル事業本部副本部長、(株)JCBトラベル代表取締役社長を経て、(株)JTB総合研究所代表取締役社長執行役員(現職)として活躍。立教大学観光学部特任教授も兼任し、将来ツーリズム産業を目指す学生に対し、旅行商品の企画開発や地方創生に向けた革新的な提案を指導している。産学での実績は、観光業界における持続可能な発展への貢献として高く評価されている。

山下 真輝

(株)JTB総合研究所 主席研究員
(一社)日本アドベンチャーツーリズム
協議会 業務執行理事

内閣官房地域活性化伝道師として全国各地の自治体やDMOに観光振興に関するアドバイスやコンサルティング

を行い、観光関連政策の各種委員や観光関連団体の役員も多数務めている。2019年に日本国内のアドベンチャーツーリズム(AT)の普及啓発を目的として、(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会を設立させ、現在業務執行理事として事務局を運営し、全国各地でAT推進にむけた戦略策定、商品開発、人材育成等に関する事業支援を行っている。2018年より現職。

Yamashita Masaki

11月23日(祝・土) 14:40~16:10
東京アドベンチャープロモーション協議会の取り組み成果とフィールドワークの心得

Yokosawa Takeru



横澤 武留

(株)USPジャパン
エグゼクティブプロデューサー

広告会社勤務を経て、2015年USPジャパンに入社。国内外の観光プロモーション、イベントプロモーションのプロデュース経験と知見を生かし、地域に根差したコミュニケーションとアイデアをモットーに全国各地の地域振興事業を担当。観光庁「世界水準のDMO形成促進事業」における外部専門人材選定、商店街よろず相談アドバイザー、「ツーリズムEXPOジャパン2024国内・訪日展示営業・商談部会」部会員、イベント情報活用コンソーシアム理事。青梅市在住で東京アドベンチャープロモーション協議会の運営協力などにたずさわる。

お申込みに際して

- ・講座名は予定されたタイトルであり変更になる場合があります。
- ・講師等は変更になる場合があります。
- ・講座は写真撮影、映像収録を行う予定です。
- ・お預かりした個人情報本講座に関わる連絡やご案内以外には使用いたしません。



11月下旬配信(予定)

名寄・大槌・石見銀山「地域おこし協力隊」によるシンポジウム

「自然資源を活かしたツーリズムにおける人材の獲得および育成について」

Hattori Mari



服部 真理

(岩手県大槌町)

東京都出身。大学卒業後、2014年まで出版社などで雑誌や書籍の編集者をする。東日本大震災を機に2014年6月から、岩手県山田町の「復興及び観光コーディネーター」へと転身。「やまだワンダフル体験ビューロー」を立ち上げ、着地型観光の造成・受け入れ体制づくりをする。本取組は第15回JTB交流創造賞(2020年)の受賞を導き、大きく注目された。2021年、隣町の大槌町へ移住。地域おこし協力隊「観光コーディネーター」として大槌町観光交流協会に籍を置き、大槌町の観光コンテンツの造成や営業活動を担いつつ現在に至る。



Mori Kazuki



森 和季

(北海道名寄市)

北海道旭川市出身の26歳。中央大学法学部を卒業後、都内の金融機関に勤務し、2021年に地域おこし協力隊として名寄市に移住。現在は、「NPO法人なよろ観光まちづくり協会」に勤務。北海道アウトドア資格カヌー分野やJCTAサイクリングガイド等の資格を取得し、当協会の体験コンテンツ運営にたずさわる。観光庁や北海道の事業の企画・運営等を担い、2024年度には名寄市内で初となるアウトドアイベントを開催した。

Kaneta Fumiya



金田 郁也

(島根県大田市:石見銀山)

群馬県出身。中央大学総合政策学部を卒業後、(株)JTBで修学旅行や語学研修などの教育旅行に従事。2020年に同社を退職。筑波大学大学院世界遺産学学位プログラム博士前期課程へと進学した(2023年修了)。学生時代にマレーシアでインターンシップを経験した際に世界遺産への問題意識を抱いたことが動機となり、2021年春から世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の中心地である島根県大田市大森町に移住した。同年11月に地域おこし協力隊に着任し、現在は家族とともに古民家で暮らしながら、大森町のまちづくりにたずさわっている。

2024年12月21日(土) 9:00

みたけ JR御嶽駅 集合

みたけ山ネイチャー体験
(武蔵御嶽神社・ロックガーデン)

東京アドベンチャーライン(青梅・奥多摩間の愛称)・JR御嶽駅から、バスと御岳登山鉄道を乗り継いで都内屈指のパワースポット「武蔵御嶽神社」と自然溢れる「ロックガーデン」を散策します。交通費は自己負担、昼食弁当・飲物を各自持参のこと。暖かい服装で両手が空くようリュック、歩きやすい靴(登山靴等)でご参加ください。帽子やグローブ、トレッキングポールがあると便利です。夕刻現地解散。雨天の場合はコース内容を変更します。

